

令和4年度第1回久寺家地区地域会議 議事録

1 日時：令和4年6月5日（日） 13：00～15：10

2. 場所：久寺家近隣センター 多目的ホール

3. 出席者：12 団体 23 名

【委員】久寺家地区まちづくり協議会（4名）、久寺家自治会、久寺家三菱自治会、久寺家二丁目自治会、久寺家マンション自治会、土谷津町会、日新自治会（2名）、久寺家三菱子ども会（2名）、久寺家二丁目子ども会、久寺家地区民生・児童委員（2名）、久寺家生活お助け隊、NPO 法人みんなの広場風、地域会議事務局（3名）

【随時参加委員（資料参加）】久寺家よりみちサロン、久寺家ふれあい弁当の会

【陪席】我孫子市民協働推進課（3名）、

欠席：久寺家まちづくり協議会（1名）、久寺家子ども会、久寺家地区・民生児童委員（1名）、消防団第九分団、北地区社会福祉協議会、社会福祉法人栄興会つくし野荘の各委員

4. 議事内容（要旨）

（1）事務局の開会挨拶に続き、参加各委員自己紹介

（2）市民協働推進課課長挨拶

挨拶に続き、名称変更を機に活動団体間協働の一層の推進を目指すこと、課はこれの窓口として一層積極的にバックアップを行うなど、課の方針が説明された。

（3）議事

議題1：各団体提出資料などにもとづき、以下のテーマごとに意見交換

① 2年以上続いているコロナ禍の下での各団体の活動の正常化への取り組み

まち協をはじめとした参加諸団体の今年度活動の取り組みとコロナ禍下での対処の仕方に関する考え方を意見交換した。長期の活動の低迷は地域の活性化に影響が大きいいため、各団体ともコロナ対策を踏まえつつも可能な形で正常化を目指していることが確認された。

② 子ども会活動の縮小動向と新たなまち協活動について

2丁目子ども会の活動報告、久寺家、三菱各地区より子ども会の現状は実質凍結状態にあることが報告された。背景としては、対象児童数の減少、共働き世帯増加に伴う役員担い手不足、子供を巡る環境も家族中心の家庭の行動、学校での学童保育、地域クラブ、学習塾など子ども会発足当初と大きく変化していることが考えられる。こうした環境の変化を踏まえて、此度まち協に設置された「地域交流委員会」では子ども会と連携しつつ、子ども向けの新たな取り組みを都度プロジェクト方式で立ち上げ、年齢も性別も多様なボランティアを募りながら運営していくとの説明があった。また必要資金をこれまでの地域会議の補助金のほかに、まち協や各自治会からの支援、参加者負担などの方法を検討していくとの説明があった。

③ 久寺家地区内の大規模土木事業に関する情報共有、協力

土谷津地区道路拡幅工事及び日新地区工場誘致計画の進捗状況が当該自治会から報告された。次いで工期が7年に及ぶ柏市大規模データセンター建設工事の進捗状況、自治会の対応状況が

説明され、交通安全、道路損傷など地域への影響が長期にわたり予想されるとの報告があった。
この久寺家自治会の折衝活動につき、必要であれば他の自治会も連携してバックアップすることが合意された。

④ みまもりや生活支援を要する高齢者、発災時の避難要支援者への地域対応

各自治会の安否情報把握活動の状況は、三菱自治会が毎年進めていること、2丁目自治会は昨年
から始め、マンション自治会は昨年実施したが回答が少なかったこと、他の自治会では住民の実
態から必要性が少ないなどで実施されていないとの報告があった。また民生委員から活動状況
の紹介があり、把握情報をオープンにしての他団体との連携活動には法的な制約があり難しい
との説明があった。

要支援者の把握、その情報やニーズの開示、支援者側の選定など難しい問題が多く、今回は意見
交換で終了した。

お助け隊の活動については隊長より高齢化へのサポートを進めたい、新隊員の参加を募ってい
るとの報告があった。

また、見守りの拠点でもあるよりみちサロン風の在り方について、コロナなどで参加者が減少し
ているなど問題もあり、設立関係者などを中心に検討を行うこと、地域会議でも継続課題とする
こととした。

⑤ NPO 法人みんなの広場「風」の活動報告

理事長より活動内容が報告され、発売する野菜、菓子、手打ちうどんなどの購入協力が支援に
なるので協力を期待すること、スポーツ大会への協賛、地区合同防災訓練への参加などで今後と
もメンバーと地域とつながりをもっていくとの報告があった。

議題2：地域の動き、団体活動について情報・意見交換

① 6自治会協議会事務局より、今年度防災訓練計画概要が報告された。

② 地域会議事務局より内外水氾濫対策としての久寺家自治会と久寺家三菱自治会との緊急避難
場所提携について以下の概要の経緯報告があった。

昨年の一時的避難場所での安否確認訓練に際して、冠水の恐れのある三つの班での話し合いの中
から、洪水時指定避難所の久寺家中は遠すぎるので、最寄り高台にある久寺家自治会エリアでの
緊急時避難場所を確保できないかとの要望が出た。

三菱自治会から久寺家自治会に協力をお願いをしたところ、久寺家自治会より法蔵寺及び久寺
家青年館を避難所として利用可能、また自治会内の井戸水を緊急時に使用可能とする旨の協力
申し出であった。

これを受けて、関係地区住民を中心にプロジェクトチームを作って推進の予定。

③ 治水対策プロジェクトリーダーより、内水氾濫対策で残る布施新町遊水池の機能改善を柏市と
折衝した経過が報告され、まず遊水池のヘドロ滞積状況の調査が計画される旨の報告があった。

以上